

タイトル 「研究発表Ⅰ」

講演者 P T A総務役員：井場 美穂子・木村 めぐみ・海野 颯子・斎藤 文子

ビデオ音声 上記4名・P T A総務役員：山川 美希

学校名 二俣川看護福祉高等学校P T A

研究テーマ 「生徒たちの「輝く夢を支える」

～生徒たちの「輝く夢を支える」ために私たちが出来ること～

1 発表準備

本年度が、本校の事例発表であることは昨年度から分かっていました。しかしながら新型コロナウイルスの感染の状況によって、P T A活動もどのようなことができるのか、また、できていたとしても事例発表といえる内容が準備できるのか不安な時間が過ぎていきました。

令和4年度になり感染状況も多くなったり少なくなったりを繰り返す相変わらずの状況であり、事例発表のために新しい取り組みを行うことは難しいと感じました。

よって、本校P T Aがコロナ禍の3年間に取り組んでいることをまとめて発表することで、他校のP T A活動の参考になれば良いと判断し、本校の総務役員、各委員会の令和2年度から令和4年度取組をまとめていくことにしました。

2 準備段階に於いて

総務役員の活動はもちろん、各委員会委員長さん過去2年間の活動について教えていただき、写真がある場合には活動時の写真などを提供していただけるように協力を依頼しました。しかし、写真については十分な量が集まらなかったこともあり、P T A担当職員にも依頼し、記録用として撮ってある写真の提供なども依頼しました。

また、本校の部活動の活動や発表等の動画なども学校紹介として加えるのも良いのではないかと考え、部活動の動画などの提供も依頼しました。

3 P T A活動として伝えたい内容

活動報告や、写真等が集まる中で、どのような視点で事例紹介をするのが良いか検討を行いました。

その結果、本校の生徒は入学時から将来の明確な目標をもって入学し、その目標に向かって日々頑張っています。その生徒その一人一人の「輝く夢」を支える活動を自分たちがしていることに気がつきました。また、小規模な学校であることから、委員の皆様が、生徒全員をわが子と考えてくださり活動してくださることや、委員の皆様は、アットホームな雰囲気で行っていることを改めて認識できたので、そのことを伝えることができると良いと考えました。

そして事例発表のテーマ『生徒たちの「輝く夢を支える」～生徒たちの「輝く夢を支える」ために私たちが出来ること～』が決定しました。

4 工夫した部分

発表については、委員会ごとに説明するのではなく、月日を追いながら委員会の活動を説明する方が分かりやすいと考えました。

当初は、学校紹介として部活動を加えようと考えていましたが、内容から部活動の紹介はそぐわないと判断しやめることにしました。そこで、学校紹介としては本年度T V Kの取材を受けた番組を流すことにしました。その番組での生徒の様子などを見ていただくことで、伝えたい内容のP T A活動との繋がりができると考えました。

また、当日の発表については、会場で話すことも検討したが、コロナ禍でもあることで、万

が一参加できない委員の方が出てしまうと慌ててしまうこともあると判断し、録音をする方法を選択しました。

#### 4 まとめ

発表後に指導助言をいただいた保土ヶ谷高校逸見校長先生からも、「子供を思う気持ちや和気あいあいであつホームなPTAの様子がとても良く伝わってきた」、「委員の皆様の楽しもうという姿勢がとても良く伝わってきた」などのお言葉もいただくことができました。

また、今回このような発表の機会をいただくことで改めて自分たちの活動を振り返ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、本校の発表がコロナ禍に於けるPTA活動の一助になれば幸いです。